



# 函館北ロータリークラブ会報

チャールズ C. ケラー 国際ロータリー会長テーマ

ROTARIANS--

UNITED IN SERVICE--DEDICATED TO PEACE

ロータリアン--

奉仕に結束—平和に献身



鈴木 巖「静かな朝」制作年不詳 油彩・キャンバス 38.0×46.0

《第1207回例会》 第 51 号 6月29日(水)

本日のプログラム

会長・幹事・各委員長退任挨拶

★会長 川村 邦雄

★幹事 斉藤 紀一

日	時	場所	内容
6月29日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1207回例会
7月6日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1208回例会
7月13日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1209回例会
7月20日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1210回例会
7月27日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1211回例会
8月3日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1212回例会
8月10日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1213回例会
8月17日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1214回例会
8月24日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1215回例会
8月31日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1216回例会
9月7日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1217回例会
9月14日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1218回例会
9月21日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1219回例会
9月28日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1220回例会
10月5日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1221回例会
10月12日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1222回例会
10月19日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1223回例会
10月26日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1224回例会
11月2日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1225回例会
11月9日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1226回例会
11月16日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1227回例会
11月23日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1228回例会
11月30日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1229回例会
12月7日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1230回例会
12月14日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1231回例会
12月21日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1232回例会
12月28日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1233回例会
1月4日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1234回例会
1月11日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1235回例会
1月18日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1236回例会
1月25日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1237回例会
2月1日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1238回例会
2月8日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1239回例会
2月15日(水)	18:30~20:00	函館市公会堂	第1240回例会

1987~1988

〈第1206回例会〉第50号

## 6月22日の記録

- ◎司 会 川村 邦雄 会長      ◎斉 唱 手に手つないで
- ◎ピジター 神戸東灘R.C.藤堂高弘君、函館R.C.石井正之君 他3名、  
五稜郭R.C.月永 勝君他1名
- ◎ゲ ス ト (株)ザ・グラススタジオ イン 函館 代表取締役社長 水口 議 氏

## ◎会長報告 川村 邦雄 会長

- 国際ソロブチミスト函館 15周年記念誌を回覧します。
- 小樽R.C.より坂内ガバナーの文献が届いております。
- 台北R.C.より会報が届いております。御回覧ください。

## ◎幹事報告 斉藤 紀一 幹事

- 当クラブ会員より下記の方の入会の推薦がありました。入会に御異議のあるかたは7月1日までに書面で幹事宛にお知らせください。  
北沢靖夫氏、近藤信一氏、大出 茂氏、茂森功由氏、新谷順次氏
- 昨年度活動報告書および活動計画書の提出を宜しくお願いします。
- ロータリーレートが、1 \$ 128円から125円になりました。
- 会費未納者ははやめにお支払いくさるようお願い致します。

## ◎親睦委員会 川口 義久 会員

## ニコニコBOX投入報告

川村(昭)会員・斉藤幹事・橋場会員・山本会員・鈴木会員・安藤会員・川口会員・

……………ニコニコボックスに協力

## ◎卓 話 「ガラスあれこれ」

(株)ザ・グラススタジオ イン 函館 代表取締役 水口 議 氏

こんにちは、水口 議(はるか)と申します。なかなか読みづらい名前のように、小学校より現在まで必ずとっていいほど「なんて読みますか」と聞かれまして、逆にそれで名前をよく覚えていただきました。

私は、愛媛県の高校をでたあと大阪のガラス会社で10年修業をしましたが、そこには2、30年勤めている方がほとんどでした。そのなかで伸びるためには努力しないと考えていたら10年たってしまいました。オイルショック後その会社が傾いた時、5人で一緒に出て小樽に行き、ザ・グラススタジオを開設しました。約4年一緒にやりようやく軌道に乗りましたが、こんどは函館の明治館のほうから依頼がありまして私がかたわけです。現在5年たちようやく観光客が来はじめ、タクシーでも知られはじめまた明治館のなかでは恵まれた場所にあるため今では真っ先に私の店に来られるようになりました。さらに頑張って函館にいけばザ・グラススタジオがあるといわれるようになりたいというのが現在の心境です。

つぎにガラスについてはなしをしてみます。我々の仕事は非常に難しい面があります。ここに置いたのがプログラム委員をされています鈴木さんから依頼されて作った花瓶なのですが花1輪がはいればよいと頼まれましたが、鈴木さんが考えていたものとはだいぶ違うものが出来てしまったようです。このように頼まれ人と私と違う考えがあり、私からするとガラスの特性を利用した作り易いものを作ってしまうわけで、どうも食い違いが起こってくる事が多いのです。

ガラスはその他びーどろ、ギャマン等と呼ばれます。ガラスは日本にはポルト

ガルから最初に入ってきましたが、ビーどろとはポルトガル語でガラスのことをいい、それ以来ひらかなでもつかわれるようになりました。

ギヤマンとは、オランダ語でギオマント（英語でいうダイヤモンド）のことで、恐らく、ガラスの表面に細工を施す際に、ダイヤモンドポイントを使いますがその手法を間違えてガラスのことと思ひ込み、それ以来ギヤマンと言ったのだらうと思います。

ガラスの原料は、あまり知られてはおりませんが、特別のものではなく、石の粉、珪石を粉にしたケイ砂にして用います。しかし、単独では融点が2000℃を越え、そこまで上げるには大変なため、ソーダ灰を混ぜ融点を1,200～300度に落とし、なおかつこれだけでは水に溶けやすいため、石灰を混ぜて溶けにくくしております。これを一般的にはソーダガラスと言います。その他大きく分けて、クリスタルガラス、耐熱ガラスがあります。クリスタルガラスはケイ砂に酸化亜鉛、つまり鉛を25%以上入れて作るわけですが、鉛が入っているため、軟かい、透明感、重量感があり、カットしやすいという性質を持っております。しかし反面軟かいとキズがつきやすく、商品にするには難しいため価格が高くなってしまいます。また25%以上鉛が含まれるものをセミクリスタルと呼んでおります。耐熱ガラスとは、急な温度変化にもわれないように、ホウ砂、ソーダ灰を入れ、膨張率を低くおさえており、ピーカー、医療器具その他に使用されております。その他カリガラスなどがありますが、それぞれ原料が少しずつ違っております。

ガラスの断面を見ますと、ブルーがかっているのが気付かれると思いますが、あれは本来のガラスの色で鉄の色なわけです。おもしろいことに、ガラスの青みを消し、透明に見せるため、赤色のセレンウムを入れ青色を消すのです。逆にガラスに色をつける場合には、重金属を混ぜ、赤色をつけるにはセレンウムや王水に溶かした金・銅などを入れます。ヨウ化カドミウムは黄、青は酸化コバルト、

紫は二酸化マンガンを入れ、黒はいろいろな色を混ぜるとつきます。

ガラスを溶かす釜には2種類あり、レントイカマとタンクガマで、我々が使うかまは後者の方で、フロ釜のような簡単な構造になっております。また作り方が我々が行っているのは紀元前1世紀のローマ時代に行っていた吹きガラスという、ステンレスの筒の端にガラスをまきつけて作る方法です。なかでも宙吹きが最も難しく、同じものが二度と出来ません。型吹きは型どおり、同じものが数万・数10万個も1日に出来、そのためコストも低くおさえることが出来ます。

型吹きと言ってもビールのジョッキのように取手がついているものでは、スポックと型から抜くことは出来ませんから、型自体がバラバラになります。吹きガラスの手法の以前は、コアテクニックというはりの先に粘土で型を作り、溶けたガラスの中につけるとガラスが型の周りにつき、最後に中の粘土を取り除く手法が使われていました。

板ガラスは以前は非常に作るのが難しく、丸いお皿をつくりそれをカットして板ガラスにしていたのです。したがってその頃はせいぜい30cm角の大きさの板ガラスしか出来ませんでした。やゝ発達しますと、今度は筒状のガラスを作り、一辺を切り、それを延ばして板ガラスにしました。丁度ハツ橋を平たく延す訳です。最近ではすべて機械で作られ、釜の真下に穴が空けてあり、その穴から溶けたガラスを流し、ローラーに通して平にして板ガラスを作っております。

最後にグラス、コップの見分け方について話してみます。同じコップでも飲み口が丸くなっているコップは大量生産で作られ安く、ブランデーグラスのように飲み口が薄くなっているものは高価となっております。これらの違いは、クリスタルガラスについても言いましたが、原料が高い訳ではなく、商品として出荷する際に、傷がつきやすかったり、口が薄いと割れやすかったりして、歩止りが悪くなるために高価なものになってしまいます。

〔お願い〕

8月3日(水) ガバナー訪問記念撮影と25周年記念誌用に写真撮影を行いますので、100%出席をお願い致します。

出席委員長 安藤 勝見



函館EXPO'88  
青函博

1988.7.9～9.18

成功させよう

◎ 出席報告

会 員 数	62名	出 席 率	函 館 北 6月15日	88.52%
出 席 席	40名		函 館 東 6月14日	95.77%
欠 席 席	22名		函 館 6月9日	96.58%
他クラブ出席	14名		函館五稜郭 6月10日	100.00%
出席合計	54名		函館亀田 6月13日	76.09%
除 外 者	1名			

次回・7月6日

プログラム

“移動例会”

七重浜慰霊碑除幕式

例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 例会場：函館国際ホテル

事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870